

2023 年度第 3 回中高一貫教育具体化検討部会

2023 年 9 月 29 日（金）  
午前 9 時 30 分から午前 11 時 30 分まで  
ルブラ王山 金鯨

次 第

1 開会

2 議題

(1) 入学者選抜に関する事

(2) 教育内容に関する事

(3) 部活動に関する事

(4) 学校給食に関する事

(5) 学校名に関する事

3 閉会

【配布資料】

- ・資料 1：中高一貫教育の導入（探究学習重視型）に向けた検討事項
- ・資料 2：入学者選抜に関する事
- ・資料 3：教育内容に関する事
- ・資料 4：部活動に関する事、学校給食に関する事
- ・資料 5：学校名に関する事

# 中高一貫教育の導入（探究学習重視型）に向けた検討事項

## 論点 1 入学者選抜に関すること・・・第1回部会（5/23）・第2回部会（7/21） 第3回部会（本日） 資料 2

（背景・基本的な考え方）

- 国の考え方は、平成9年の答申や国会審議での附帯決議において、「受験エリート校化や受験競争の低年齢化が懸念されることから、公立学校（中等教育学校・併設型中学校）での入学者選抜では学力検査は行わない」としている。
- しかしながら、教育方針やカリキュラムを理解した生徒に入学してもらうため、必要最低限の選抜を行う必要があることから、受験テクニックや知識量を測るのではなく、探究心や課題解決力、共感力、意欲を確認するための入学者選抜を行う。
- 入学者選抜においては、思考力、判断力、表現力等を総合的に測る適性検査を行う。

〔検討内容〕

入学者選抜の実施日程、選抜方法（適性検査や面接の実施方法、調査書の取扱いなど）、選抜基準、出願時の提出書類、入学検定料など。

## 論点 2 教育内容に関すること・・・第2回部会（7/21）・第3回部会（本日） 資料 3

（背景・基本的な考え方）

- 中高一貫教育導入のねらいである「チェンジ・メーカーを育てる」を実現するための教育内容。
- 学校教育法施行規則において、中学校の標準授業時数は週29時間。
- 中高一貫校は、特例制度により、週29時間を超えて授業を実施することが可能。

〔検討内容〕

導入校の特色、教育課程（総授業時間数、各教科の時間数）、日課表（登下校時間など）など。

## 論点 3 部活動に関すること・・・第3回部会（本日） 資料 4

（背景）

- 併設中学校は全体で6学級（明和高校は9学級）と小規模で生徒数が少ない。体育館は新設するため占用できるが、グラウンドや武道場等は高校との共用。

〔検討内容〕

併設中学校における部活動の在り方（地域移行・地域連携を含む）

## 論点 4 学校給食に関すること・・・第3回部会（本日） 資料 4

（背景・基本的な考え方）

- 併設中学校では、学校給食を提供する。
- 調理場を設置しないことから、地元市町村の給食センター又は民間給食事業者からの提供とする。
- 高校においても、希望する生徒に昼食の提供を行う。

〔検討内容〕

併設中学校ごとの学校給食の提供方法

## 論点 5 教職員配置に関すること・・・第1回部会（5/23）・第2回部会（7/21）

### （1）併設中学校の教職員配置

（基本的な考え方）

- 中高一貫校の教育内容の実施に必要なとなる教職員を配置する。

〔検討内容〕

開校初年度から学校完成時までの職種ごとの教職員の配置人数、教科別の教員数、中学校教員と高校教員の内訳

### （2）開校準備員の配置

（基本的な考え方）

- 開校の前年度（2024年度）に、校内体制、年間行事予定、各種指導計画などを作成 → 教員を配置
- 必要物品の購入、各種契約業務 → 事務職員を配置

〔検討内容〕

開校準備員の人数、職種、勤務場所

## 論点 6 学校名に関すること・・・第3回部会（本日） 資料 5

- 学校名は、各導入校の意見を聴取のうえ、教育委員会において決定する。

〔学校名のイメージ〕

タイプ別の中高一貫校の名称 ※ 明和高校に当てはめた場合のイメージ例		全国90校の タイプ別学校数
Aタイプ	愛知県立明和中学校・高等学校	47校
Bタイプ	愛知県立明和高等学校・附属中学校	36
Cタイプ	愛知県立〇〇中学校 愛知県立明和高等学校	7

## 論点 1 入学者選抜に関すること（第一次導入校）

### 1 親会議・部会における入学者選抜に関する委員の意見

#### (1) 第2回部会（7/21）

- ・中高6年間、十分に学ぶ力が備わっていることが、適性検査で確認できるなら、面接ではなく抽選でも良いのでは。
- ・小学校6年生が、受験対策のために欠席しないような手立ても考えてもらいたい。学習塾では、既に受験対策をうたって児童を募集し、受験の過熱化が見られる。
- ・開校前年度は、併設中学校の教員が配置されていないため、高校の教員だけで面接することとなるが、3学期には高校入試も重なり入試が大変である。

#### (2) 第2回親会議（7/28）

- ・受験の過熱化を抑えるため、出来るだけ早く保護者や児童に説明してもらいたい。
- ・適性検査のサンプル問題を示してもらいたい。
- ・入学者選抜は、高校教員にとって負担にならないようにしてもらいたい。

### 2 今回（第3回部会）の検討事項

7月28日に発表した「入学者選抜の概要」に追加して、第3回親会議後に発表する内容を検討する。

区分	検討項目
探究学習重視型	・適性検査の検査時間・コマ数 ・面接の実施方法・面接時間 ・合否の決定方法
音楽コース	・検査内容・合否の決定方法
その他	・入学者選抜のスケジュール ・入学検定料の徴収

※サンプル問題は、公表前に委員へ送付する予定。

### 3 探究学習重視型の検討事項

#### (1) 適性検査の検査時間・コマ数

##### ア 発表済みの内容

- ・小学校学習指導要領の範囲内とする。
- ・小学校の教育活動を通して身に付けた知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力等を測る。
- ・複数の教科を組み合わせた内容とする。（「教科横断的な問題」から文言修正）
- ・英語は出題しない。
- ・全問、選択式とする。

##### イ 今回検討内容

- ・検査時間・コマ数を、全国の実施状況を踏まえて設定する。（小学生にとって過度の負担とならないよう留意が必要）

（参考）大都市圏の都道府県立中高一貫校における検査時間・コマ数

- ・検査時間は45分、コマ数は2コマが多い。

都道府県	検査時間・コマ数
茨城県	45分×2コマ
埼玉県	50分×2コマ
千葉県	1次選抜：45分×2コマ 2次選抜：45分×2コマ
神奈川県	45分×2コマ
東京都	45分×2コマ 又は 45分3コマ
京都府	50分×2コマ+40分×1コマ
大阪府	45分×1コマ+60分×1コマ+作文 又は 45分×3コマ+作文

## (2) 面接の実施方法・面接時間

### ア 発表済みの内容

- ・チェンジ・メーカーの育成や探究学習にとって重要な資質（探究心、共感力、寛容性、粘り強さなど）を見る。
- ・受験者の体験を基にやり取りしながら資質を見出していく「リフレクション（振り返り）型」により行う。
- ・導入校の教育方針やカリキュラムを理解し、中高6年間、探究学習をしっかりと学び続けようとする意欲や志望動機を見る。

### イ 今回検討内容

- ・リフレクション型では、面接官が受験者とやり取りをしながら質問内容を掘り下げていくことから、一人一人をしっかりと見ることができる個人面接とし、1人当たりの面接時間をしっかりと確保する。（小学生にとって過度の負担とならないよう留意が必要）

#### (参考) 全国の都道府県立中高一貫校における個人面接の面接時間

- ・面接時間を示していないことが多いが、個人面接の時間が示されている学校は、主に10分程度となっている。  
北海道：10分程度、青森県：7分程度、秋田県：10～15分程度、  
埼玉県：10分程度、和歌山県：5分程度

## (3) 合否の決定方法

### ア 発表済みの内容

- ・入学後の学習に必要な資質や能力を丁寧に見るため、適性検査で思考力・判断力・表現力等を測り、受験者数を絞った上で面接を行う「2段階選抜（1次選抜：適性検査、2次選抜：面接）」を実施する。  
※1次選抜通過者は、募集人員の2倍～2.5倍（160人～200人）程度を想定

### イ 今回検討内容（全国の2段階選抜の実施状況は、別添参考のとおり）

#### (ア) 1次選抜の合否決定

- ・適性検査の結果で決定する。

#### (イ) 1次選抜の合格者数

- ・2次選抜では、リフレクション型により1人当たりの面接時間をしっかりと確保する必要があるため、1次選抜の合格者数を絞り込む。

#### (ウ) 2次選抜の合否決定

- ・全国の状況を踏まえ、1次選抜と2次選抜の結果に基づき、総合的に判断して決定する。

#### (参考) 2段階選抜実施校における1次選抜合格者数・2次選抜の合否決定

- ・千葉県立の2校を除き、全ての2段階選抜実施校で、1次選抜合格者数を募集人員の2倍又は2.5倍程度としている。
- ・2次選抜で個人面接を実施している2校では、面接時間を1人当たり10分程度、1次選抜合格者数を2.5倍（200人）程度としている。
- ・2次選抜で共同生活を実施している1校を除き、全ての2段階選抜実施校で、1次選抜と2次選抜の結果に基づき、総合的に判断して2次選抜の合否を決定している。

学校名	募集人員	1次選抜合格者数	2次選抜の内容	2次選抜の合否決定
札幌開成（札幌市立）	160人	2倍(320人)	グループ活動	1次・2次の結果
伊奈学園（埼玉県立）	80人	2.5倍(200人)	個人面接(10分程度)	1次・2次の結果
浦和（さいたま市立）	80人	2.5倍(200人)	適性検査、個人面接(10分程度)、集団面接	1次・2次の結果
大宮国際（さいたま市立）	160人	2.5倍(400人)	適性検査、集団活動	1次・2次の結果
千葉・東葛飾（千葉県立）	80人	4倍(320人)	適性検査、集団面接	1次・2次の結果
稲毛国際（千葉市立）	160人	2倍(320人)	適性検査、集団面接	1次・2次の結果
広島叡智学園（広島県立）	40人	2倍(80人)	共同生活(2泊3日)	2次の結果

#### 4 明和高校併設中学校 音楽コースの検討事項

##### (1) 検査内容・合否の決定方法

###### ア 発表済みの内容

- ・実技検査を実施する。(「愛知県 中高一貫教育導入方針」より抜粋)

###### イ 今回検討内容

- ・私立中学音楽コースの検査状況を踏まえ、中高6年間、音楽をしっかりと学び続けようとする意欲や志望動機等を見る面接や、思考力・判断力・表現力等を測る適性検査を実施する。
- ・合格者は、**実技検査、面接、適性検査の結果に基づき、総合的に判断して決定する。**

##### (参考) 音楽コースを設置する私立中学の検査内容

- ・ほとんどの私立中学で、**実技検査、面接、学力検査**を実施している。

中学校名	検査内容
国立音楽大学附属中学 (東京都)	実技検査、面接、学力検査
東邦音楽大学附属東邦中学 (東京都)	実技検査、面接、作文 (600字～800字)
上野学園中学 (東京都)	実技検査、面接、学力検査
北鎌倉女子学園中学 (神奈川県)	実技検査、学力検査
相愛中学校 (大阪府)	面接、学力検査 (入学までに実技課題)

#### 5 その他の検討事項

##### (1) 入学者選抜のスケジュール

- ・愛知県内の国立・私立中学校と同様 (12月～2月上旬までの間) とし、1次選抜及び2次選抜は、各校同一日程で土曜日又は日曜日に実施する。

##### (2) 入学検定料の徴収

- ・公立の併設型中高一貫校を設置する35都府県・13市のうち、34都府県・12市が入学検定料を徴収していることから、他県と同様、**入学検定料を徴収する。**

1 札幌市立札幌開成中等教育学校

(1) 募集人員

160人

(2) 出願 11月11日（金）まで

提出書類：入学願書、出願理由等説明書、児童の状況調査（調査書）等

(3) 一次検査 1月11日（水）

適性検査Ⅰ 45分、適性検査Ⅱ 45分

(4) 一次検査通過者の選考

出願理由書等説明書、児童の状況調査（調査書）、適性検査Ⅰ・Ⅱの結果を用いて、一次検査通過者を選考。

一次検査通過者は、募集人員の2倍（320人）以内とする。

(5) 二次検査 1月21日（土）

グループ活動 各グループ50分

(6) 入学予定者の選考 1月27日（金）発表

出願理由等説明書、児童の状況調査（調査書）、適性検査Ⅰ・Ⅱとグループ活動の結果を用いて、入学予定者を選考。

・「状況調査」と「適性検査Ⅰ」を同等とみなして評価 1/4程度

・「状況調査」と「適性検査Ⅱ」を同等とみなして評価 1/4程度

・「状況調査」と「グループ活動」を同等とみなして評価 1/4程度

・残りは、「状況調査」「適性検査Ⅰ」「適性検査Ⅱ」「グループ活動」を同等とみなして総合的に判断して決定。

2 埼玉県立伊奈学園中学校

(1) 募集人員

80人

(2) 出願 12月27日（火）まで

提出書類：入学願書（裏面に志願理由）、調査書等

(3) 第一次選考 1月14日（土）

作文Ⅰ 50分、作文Ⅱ 50分

(4) 第二次選考受験候補者の選考

第一次選考の結果を資料とし、中高一貫教育を希望する受験者の意欲や適性等を総合的に判断して、受験候補者を選考。

第二次選考受験候補者は、募集人員の2.5倍程度（200人程度）とする。

(5) 第二次選考 1月21日（土）

個人面接 1人10分間程度

(6) 入学許可候補者の選考 1月25日（水）までに発表

第二次選考と第一次選考の結果、調査書を資料として、中高一貫教育を希望する受験者の意欲や適性等を総合的に判断して、入学許可候補者を選考。

3 さいたま市立浦和中学校

(1) 募集人員

80人

(2) 出願 1月5日（木）配達日指定

提出書類：入学願書、調査書等

(3) 第1次選抜 1月14日（土）

適性検査Ⅰ 45分、適性検査Ⅱ 45分

(4) 入学適格者（第1次選抜合格者）の選考

入学適格者は、募集人員の2.5倍程度（200人程度）とする。

(5) 第2次選抜 1月21日（土）

・適性検査Ⅲ（作文）45分

・個人面接 1人10分間程度（英語による1分間の自己紹介を含む）

・集団面接 7名程度の集団で課題解決に向けて話し合う。

(6) 入学許可候補者（第2次選抜合格者）の選考 1月25日（水）までに発表

調査書、適性検査（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、面接の結果を総合的に判断して、入学許可候補者を選考。

4 さいたま市立大宮国際中等教育学校

(1) 募集人員

160人

(2) 出願 1月5日（木）配達日指定

提出書類：入学願書、調査書等

(3) 第1次選抜 1月15日（日）

適性検査A 50分、適性検査B 40分

(4) 入学適格者（第1次選抜合格者）の選考

入学適格者は、募集人員の2.5倍程度（400人程度）とする。

(5) 第2次選抜 1月21日（土）

・適性検査C（作文）45分

・集団活動：1グループ30分間。1部屋12名程度。

さいたま市立小学校で実施している「グローバル・スタディーズ」の授業に即した活動を行う。

(6) 入学許可候補者（第2次選抜合格者）の選考 1月25日（水）までに発表

調査書、適性検査（A・B・C）、集団活動の結果を総合的に判断して、入学許可候補者を選考。

## 5 千葉県立千葉中学校・東葛飾中学校

### (1) 募集人員

80人

### (2) 出願 11月24日(木)まで

提出書類：入学願書等 ※報告書(調査書)、志願理由書は、一次検査後に提出

### (3) 一次検査 12月10日(土)

適性検査1-1 45分、適性検査1-2 45分

### (4) 二次検査受験候補者の選考

一次検査の結果を資料として、各校長があらかじめ定めた方法により、二次検査受験候補者を選考。

二次検査受験候補者は、募集人員の4倍程度(320人程度)とする。

### (5) 二次検査 1月24日(火)

・適性検査2-1 45分、適性検査2-2 45分

・面接：集団面接。東葛飾中学校は、プレゼンテーション的な内容を含む。

### (6) 入学許可候補者の選考 1月31日(火)発表

報告書(調査書)、志願理由書等の書類の審査、一次検査・二次検査の結果を資料とし、各校長があらかじめ定めた方法により、各中学校で行う学習活動への適性等を総合的に判断して、入学許可候補者を選考。

## 6 千葉市立稲毛国際中等教育学校

### (1) 募集人員

160人

### (2) 出願 11月17日(木)まで

提出書類：入学願書等 ※報告書(調査書)、志願理由書は、一次検査後に提出

### (3) 一次検査 12月10日(土)

適性検査Ⅰ 45分、適性検査Ⅱ 45分

### (4) 二次検査受験候補者の選考

一次検査の結果を資料として、二次検査受験候補者を選考。

二次検査受験候補者は、募集人員の2倍程度(320人程度)とする。

### (5) 二次検査 1月24日(火)

適性検査Ⅲ 45分(外国語活動)、面接(集団)

### (6) 入学許可候補者の選考 2月1日(水)発表

報告書(調査書)、志願理由書等の書類の審査、一次検査・二次検査の結果を資料とし、志願者の能力、適性、意欲等を総合的に判定して入学許可候補者を選考。

## 7 広島県立広島叡智学園中学校

### (1) 募集人員

40人

### (2) 出願 11月4日(金)まで

提出書類：入学願書、志願理由書、自己紹介書、調査書等

### (3) 第1次選抜 11月20日(日)

適性検査A 45分、適性検査B 45分、面接(集団面接)

### (4) 第1次選抜の通過者の選考

適性検査と面接、出願書類を総合的に判断して、第1次選抜の通過者を選考。

第1次選抜の通過者は、募集人員の2倍程度(80人程度)とする。

### (5) 第2次選抜 12月25日(日)～27日(火)2泊3日

グループワーク：グループによる活動を通じて、コミュニケーション力や他者と協働して課題を解決しようとする力などを見る。(26日終日)

面接：志願者全員に対して、個人面接を実施(27日)

共同生活の振り返り：2泊3日の共同生活において感じたことや考えたことを表現する。(27日)

### (6) 合格者の選考 1月11日(水)発表

グループワーク、面接、共同生活の振り返りの結果等を総合的に判断して合格者を選考。

## 論点 2 教育内容に関すること（第一次導入校）

### 1 「愛知県 中高一貫教育導入方針」における教育内容

#### (1) 中高一貫教育導入のねらい

社会が加速度的に変化し続け、将来の予測が極めて難しい時代において、様々な人と協働しながら、答えのない課題に対して、失敗を恐れずにチャレンジし、社会に変化を起こす「チェンジ・メーカー」を育成する。

#### (2) 探究学習重視型における各導入校の導入イメージ

##### ○SSH実施校（明和（普通コース）、半田、刈谷）

・SSHの探究的な学びをベースに、中学校段階から文理融合の探究的な学びに取り組む。

##### ○グローバル探究実施校（津島）

・国際理解コースで取り組んでいる国際交流等の取組をベースに、中学校段階から探究的な学びに取り組む。  
・国際探究科に学科改編し、国際バカロレアを踏まえた探究的な学びを実践する。  
・中学校・高校への国際バカロレアの導入を目指す。

##### ○音楽科設置校（明和（音楽コース））

・中学校段階から、充実した環境の中で個々の才能を最大限伸ばし、現代社会とのつながりを意識したアーティストを輩出する。

### 2 探究学習重視型における目指す人間像等（第2回部会で検討）

別紙参考資料のとおり

### 3 第2回部会における教育内容に関する委員の意見

#### (1) 中高6年間について

・併設中学だけでなく、高校も含めた中高一貫校6年間の魅力を発信してほしい。  
・併設中学から進学する生徒（内進生）だけでなく、高校入試を経て入学する生徒（高入生）も含めた、中高一貫校全体として力を伸ばしてほしい。  
・内進生と高入生の混合について、どのようにかかわらせていくのかを考えてほしい。  
・併設中学に入学した生徒が6年間継続して学び続けられるようにしてほしい。

#### (2) 探究学習について

・授業構成にかかわってくるため、中高一貫でどのような探究学習を目指していくのか明確にしていくとよい。

### 4 各導入校の教育内容について（今回検討事項）

#### (1) 中高6年間を通した教育理念

中高一貫校でどのような人材を育成していくのか、中高6年間を通した教育理念を打ち出していく。

#### (2) 併設中学校の教育活動の指針（スクール・ポリシー）

各併設中学校の教育活動の指針（育成を目指す資質・能力に関する方針、教育課程の編成・実施方針、入学者の受入れに関する方針）を定める。

#### (3) 併設中学校の教育課程

教育課程の編成・実施方針に基づき、各併設中学校の特色ある教育を実施するため、週当たりの授業時間数について、標準授業時数である29時間を、30時間から32時間程度に増やして教育課程を編成する。

〈各併設中学校の教育の主な特色〉

##### ・明和高校併設中学校

リベラルアーツ（幅広い教養と豊かな感性）を軸とする文理融合の探究的な学び

##### ・半田高校併設中学校

課題研究（主体的に設定した課題を探究のプロセスを通して解決する学習）や国際理解教育を軸とした探究的な学び

##### ・刈谷高校併設中学校

全ての教育活動を通した生徒主体の探究的な学び

##### ・津島高校併設中学校

国際バカロレアの趣旨を踏まえた主体的・協働的で探究的な学び

#### (4) 日課

各高校の日課や通常の中学校の授業時間数（1コマ50分）を踏まえた日課とする。



## 論点 3

## 部活動に関すること

## 部活動についての考え方

- ・ワーキンググループにおいて、各校の部活動について検討を進め、来年の夏頃に公表する。
- ・部活動改革や学校の働き方改革に考慮しながら、各校の実情に応じた具体的な案を検討していく。

## 論点 4

## 給食に関すること

## 1 併設中学校への給食提供について

- ・明和については、民間給食事業者から提供を受ける方向で検討中。
- ・半田、刈谷、津島の3校については、市町村の給食センターからの提供について調整中。

## 2 高校への昼食提供について

- ・希望する生徒に民間給食事業者から昼食を提供する方向で検討中。  
(愛知商業高校などで民間給食事業者から昼食を提供している例あり)

## 論点 6 学校名に関すること（第一次導入校）

### 1 学校名のイメージ

区分 (全国の 学校数)	明 和	半 田	刈 谷	津 島
Aタイプ (47校)	愛知県立明和中学校・高等学校	愛知県立半田中学校・高等学校	愛知県立刈谷中学校・高等学校	愛知県立津島中学校・高等学校
Bタイプ (36校)	愛知県立明和高等学校・附属中学校	愛知県立半田高等学校・附属中学校	愛知県立刈谷高等学校・附属中学校	愛知県立津島高等学校・附属中学校
Cタイプ (7校)	愛知県立〇〇中学校 愛知県立明和高等学校	愛知県立〇〇中学校 愛知県立半田高等学校	愛知県立〇〇中学校 愛知県立刈谷高等学校	愛知県立〇〇中学校 愛知県立津島高等学校

### 2 学校名の考え方

- ・高校との一体感が伝わり、中高6年間の連続した学びに力を入れることを表すことができる学校名とする。